

リーダーシップ・トレーニング

反復演習で実践的に体得する

1. 部下との良好な関係を維持しつつ、言うべきことを言う、叱るべきことを叱るスキルを学ぶ
2. 「やらされ感」から「自発性・主体性を引き出す」リーダーシップのスキルを学ぶ
3. 最近の部下の傾向からもひるまず部下指導ができるタイプ別(下記6つ)の関わり方を学ぶ

- ①上司のお前が間違っている「思い込み」タイプ ②何でも他人のせいにする「傍観者」タイプ
- ③都合よく解釈する「勝手な解釈」タイプ ④お膳立てしても挑戦しない「ノーリスク」タイプ
- ⑤昔取った杵柄をふりかざすタイプ ⑥前評判と現状が違う「他では優秀」タイプ

〈活用技法〉【1】相手(部下)の「やる気」と行動を引き出す「コーチング技法」

【2】耳の痛いことを部下に伝えながらも、部下の成長を支援するスキル
「フィードバック技法」を取り混ぜてのトレーニング

【3】チームのやる気を引き出す「ファシリテーションスキル」で、明日から実践

第1回	部下がみるみる「やる気」になる コーチング技法の習得
第2回	部下のタイプに合わせた指導の仕方 フィードバック技法
第3回	最近の6つの部下傾向に対して、どう関わるかのスキル
第4回	チームのやる気を引き出すファシリテーションスキル

◇日程：平成30年9月7日(金)・9月21日(金)・10月18日(木)・11月1日(木)の4回シリーズ 9:30~17:00

◇会場：浜松アリーナ 第2研修室

◇研修代金：お一人様 108,000円税込 (昼食は各自ご用意ください) 少人数制 10名まで

御社名:	ご住所	
お申込担当者:	TEL:	
お役職	FAX又はE-mail:	
参加者お名前:	参加者お名前:	参加者お名前:

※ 返送先 有限会社キャリア・アップ FAX 053-411-6859 担当 花田まで

《平成 29 年実施の参加者の声》



■セミナーでの「どんな学び」や「どんな気づき」がありましたか

- 議論する中で否定してはいけない。(否定ではなく流す。)
- 自分らしくリーダーシップをとって行けば良いと、自信が持てました。
- 事業計画から会議ファシリテーションを実施したいです。
- 今まで良かれと思っていた事が、人によっては逆効果だったことが分かりました。相手を知らなければ、対応方法を間違ってしまうことに気付くことができました。
- 自分の問題点があり、自分が何で悩んでいるのかを、気付くことができました。
- 部下のタイプと4つのコミュニケーションタイプ毎に上手くいく関わり方、接し方がある事が分かりました。

■本日の仲間達の意見や態度で、刺激になった事、学んだことは何ですか？

①誰の発言・態度で？ ②どんなことで刺激になったか？どんなことが学びになったか？

- ①Hさん ②目標明確化シートを使って全部下と面談しているという行動力がすごいと思いました。
- ①Oさん ②本気で講習を受けていた姿が刺激になりました。
- ①Oさん ②自ら望んで参加する研修は、気持ちの入れ込み方も違い、自分も含め部下にも「自ら学びたい」と思って貰えるように頑張りたいと思いました。
- ①Mさん ②人との関わりについて真剣に考えている姿勢。
- ①Oさん ②研修で学んだ事を仕事ですぐに実践されていることや、リーダーとして真剣に取り組んでいること。

■セミナーへの感想をお聞かせください。

- 実用したいスキルがたくさんあり、全ては出来なくても、出来る事から実行して行きたい。少しずつでも皆が生き生きと働ける会社になりたい。
- 改めて刺激を受けました。今後もこの気持ちを維持して行きます。
- 大変勉強になりました、自身のモチベーションも上がりました。感謝しております。参加させていただいた局長はじめ全員に感謝です。
- 多くの意見が大変参考になりました。
- 他のメンバーが良い方ばかりで楽しく研修が受けられた。大変勉強になりました。